

自分の「道」を一步一步進んでいく

今週初めから第2回三者面談を実施しています。お話をうかがっていると、保護者の皆様のお子さんに対する深い愛情を感じます。また、「今、一生懸命勉強しています。」とはっきり話す生徒が増えました。一方で「不安です。」と話す生徒も多くなっています。一生懸命自分の進路を考え努力するようになったからだ、肯定的に捉えています。私たち学校職員も、そうした気持ちに応え、希望する進路の実現のために力を尽くしたいと心から思っています。第3回三者面談は1月下旬です。内容は受検校決定、願書作成です。来週、面談予定表を配布しますので、よろしくお願いいたします。

先日ある大会での審判長説示で、パナソニックの創始者、松下幸之助氏の詩「道」にふれて、自分に与えられた「今」をしっかりと受け止め、目標に向かって前へ進んでいくことについてお話を聞く機会がありました。「道」は、保護者の皆様の中にご存じの方もいらっしゃるかと思います。受検を目前にした中学生の皆さんにもぜひ読んでもらいたいです。(裏面に掲載)



拉致問題啓発舞台劇「めぐみへの誓い～奪還～」を鑑賞して

11月29日(金)市民会館で、拉致問題をテーマにした演劇を鑑賞しました。有名俳優の原田大二郎氏(横田滋氏役)をはじめとする劇団夜想会による演劇で、その世界に一気に引き込まれる思いがしました。この観劇を通して、拉致問題が遠い世界の話ではなく、私たちの身近で起きている、人間としての尊厳を揺るがす問題なのだと感じました。感想の一部を紹介します。

舞台劇を鑑賞して、拉致とはどのようなことなのか詳しく知ることができました。私たちよりも年下で、みんなに優しくまじめな子が、なぜ拉致されて人生を奪われなければならないのだろーと思いました。その後、日本に帰ることもできずにいるめぐみさん。お母さんが元氣なうちに再会できることを願っています。(F.Hさん)

劇を鑑賞して、その当時小さかった横田めぐみさんが経験したことを考えると、心が苦しくなりました。拉致問題について、初めて知ることが多く、驚きました。拉致された本人だけでなく、その家族や周りの人たちまで不幸にしてしまうと思いました。自分だったら、とても耐えられないと思います。早く解決してほしいです。(S.Cさん)

◇来週の予定

日(曜)	1	2	3	4	5	6	放課	行事・その他
9日(月)	保体	理科	社会	数学	学活		15:00	三者面談(～13日)
10日(火)	理科	保体	数学	社会	音楽	英語	15:30	
11日(水)	数学	理科	英語	国語	道徳	総合	15:35	⑤2年生認知症サポーター養成講座
12日(木)	英語	国語	数学	技術	美術	社会	15:30	スクールカウンセラー来校日
13日(金)	国語	数学	英語	理科	社会		15:25	後期中間テスト
14日(土)	市PTA連合会講演会(3年部から会長さん、学年部長さんが参加してください。)							
15日(日)								

- 成績通知表を配布しました。押印の上、18日(水)までに提出してください。
- 『卒業アルバム』代金納入について(お願い)を配布しています。期限内の納入にご協力ください。

自分には自分に与えられた道がある
天与の尊い道がある
どんな道かは知らないが ほかの人には歩めない
自分だけしか歩めない 二度と歩めぬかけがえのないこの道
広い時もある せまい時もある のぼりもあればくだりもある
坦々とした時もある 汗かきわけ汗する時もある
この道が果たしてよいのか悪いのか 思案にあまる時もある
なぐさめを求めたくなる時もある
しかし、所詮はこの道しかないのではないか
あきらめろと言うのではない
いま立っているこの道 いま歩んでいるこの道
ともかくもこの道を休まず歩むことである
自分だけしか歩めない大事な道ではないか
自分だけに与えられているかけがえのないこの道ではないか
他人の道に心をうばわれ 思案にくれて立ちすくんでいても
道はすこしもひらけない
道をひらくためには まず歩まねばならぬ
心を定め、懸命に歩まねばならぬ。
それがたとえ遠い道のように思えても 休まず歩む
姿からは必ず新たな道がひらけてくる
深い喜びも生まれてくる